



6月22、23日と2日間にわたり、2年生は職場体験に出かけました。4年ぶりの実施。本校の職員も経験者が少ない状況の中、できるだけ生徒の希望する職種で体験できるようにと、1年の3学期から手分けをして受け入れ先の職場を探し、最終的に約70か所もの受け入れ先ができました。



一色町のさかな市場などの遠距離もあれば、地元の商店や三和小学校などの施設もあります。

魚屋さんでは、実際に魚を三枚におろす体験をしました。中学生がやるのが物珍しかったのでしょうか、お客さんがどんどん近寄ってきて、大勢の前で堂々と自分の包丁でおろしていました。

クレーン車やショベルカーの大好きな子が、実際に建設現場の車に乗せてもらい、大喜びをする場面もありました。



土木関係の会社では、現場で測量の場面に立ち合い、数学の座標や関数の話を交え、「今、勉強していることは大切なことだよ」と教えていただきました。

西尾市役所では、広報広聴課の方が丁寧に教えてください、広報「にしお」の取材のために、取材先へ実際に東中生がアポイントを取り、取材に出かけました。その取材先は東中生が職場体験している真最中の職場。奮闘する姿は8月の広報「にしお」に掲載される予定です。

農業体験では、枝の芽かきをする作業もありました。ていねいにわき芽を抜くのはたいへん根気のいる作業でした。

「これが働くということだよ」と諭された職場もありました。「自分たちの職種に興味を持ってもらい、大変ありがたい」「東中生はあいさつもよくて礼儀正しい」という声もいただきました。

受け入れ先の方々には、ここまでやっていただけたとは思ってもいなかったことばかりで、両手を合わせたくなる気持ちでいっぱいになりました。愛情あふれた大人の対応に生徒の心がどんどん柔らかく、豊かになっていくのを、2日間の姿を通して、読み取ることができました。

受け入れてくださった皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。